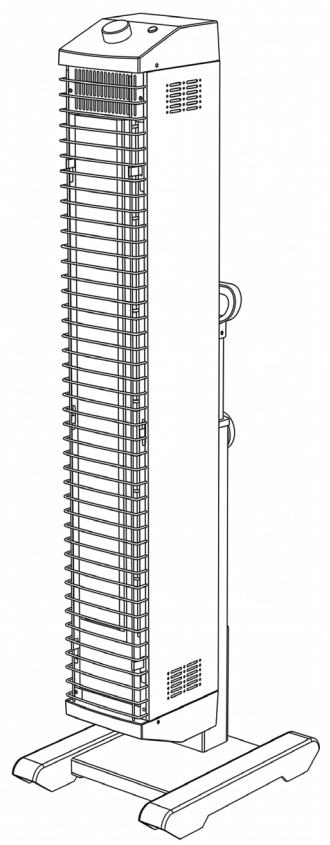
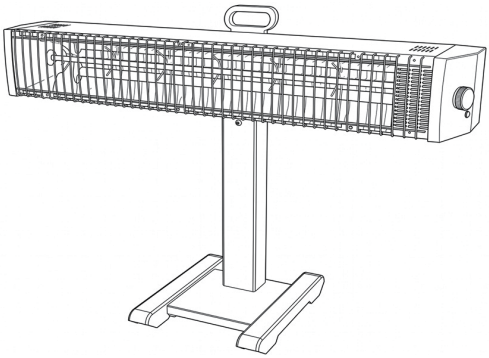
遠赤外線ヒーター スリムヒーター

SPH-12





このたびは、日動工業の製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、
  正しく使用してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

目　次

安全上のご注意…… 1
使用上のご注意…… 3
保守上のご注意…… 3
長期間使用しないとき …… 3
仕様…… 4
同梱品…… 4
各部の名称…… 4
ご使用の前に…… 5
使用方法…… 6
保護装置について …… 7
お手入れと保管 …… 8
こんなときは …… 9
アフターサービスと保証 …… 巻末

安全上のご注意

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく使用してください。
使用者および周囲の方への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●取扱いを誤った場合に生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、人が軽傷を負うおそれ、あるいは物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

禁止	してはいけないこと。
強制	しなければならないこと。

⚠ 警告

- ●**灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料など引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。**
  引火・発火・発煙、樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因になります。
- ●**アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛などの爆発性粉じんの近くや雰囲気では使用・設置しない。**爆発・火災の原因になります。
- ●**腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない。**引火による火災、腐食・故障の原因になります。
- ●**熱せられることで有毒ガスが発生する雰囲気では使用しない。**死亡する恐れがあります。
- ●**塩素系や酸性の洗剤を本製品の近くで使用しない。**有毒ガスが発生し、健康を害したり、樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因になります。
- ●**スプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・油タンクなどを本体に近づけない。**爆発・火災の原因になります。
- ●**可燃性スプレー（ヘアスプレー・殺虫剤・除菌剤・エアダスターなど）や消臭剤などを吹きかけない。**爆発・火災の原因になります。

- ●**お客様自身で分解や改造、修理はしない。**
  火災や感電、けがの原因になります。修理などのご依頼は、販売店および当社へご相談ください。

- ●**家具・衣類・カーテン・紙などの燃えやすいものの近くで使用しない。**過熱による変形や変色、火災の原因になります。
- ●**ヒーター前方1m以内に、反射物（鏡・ガラス製品・アルミ板など）や障害物を置かない。また、壁面に向けない。**
  過熱による変形・変色・破損、火災の原因になります。
- ●**本体に衣類やタオルなどの可燃物を被せない。**過熱による変形や変色、火災の原因になります。
- ●**地震などにより可燃物などが落下、または接触するおそれのある場所では使用しない。**引火による火災の原因になります。
- ●**ガードをはずしたままで使用しない。**火災・感電・やけどの原因になります。
- ●**ガードや反射板に物を貼ったり、ふさいだりしない。**火災・感電・やけどの原因になります。
- ●**就寝中や外出中、人がいない場所では使用しない。**火災や低温やけどの原因になります。
- ●**乳幼児の手の届くところでは使用しない。**感電・やけど・けがの原因になります。

- ●**屋外、浴室など高温や多湿、水のかかる場所では使用・設置しない。**
  感電やショート、発火の原因になります。

- ●**濡れた手で電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。**
  感電やショート、発火の原因になります。

- ●**本体に水をかけない。また、水洗いしない。**
  火災や感電の原因になります。誤って水がかかった場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグを抜き、販売店および当社へご相談ください。

- ●**ガードや背面・側面の通気孔などのすき間に、紙などの可燃物、指やピン、針金などを入れない。**
  火災や感電、けが、故障などの原因になります。誤って異物が入った場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。

- ●**運転中および運転停止直後は、ガード・反射板・発熱体・本体上部・側面・背面などの高温部に触れない。**
  衣類や着衣への着火、やけどの原因になります。

- ●**次のような方の近くでは使用しない。（乳幼児・皮膚感覚の弱い方・自分で操作できない方／眠気を誘う薬（睡眠薬・かぜ薬など）を服用された方／お年寄り・ご病人・疲労の激しい方／深酒をされた方／厚手の衣類を着用した方。）**衣類や着衣への着火、やけどの原因になります。
- ●**長時間、同じ姿勢で使用しない。また、同じ部位へ照射しない。**低温やけどの原因になります。
- ●**運転中の発熱体を長時間見続けない。**目に悪影響を与える原因になります。
- ●**ホコリの多い場所では使用しない。**ショートや発火の原因になります。
- ●**直射日光やエアコンの風が直接あたる場所では使用しない。**変色や変形、内部温度センサー誤作動の原因になります。
- ●**運転中はロボット掃除機を使用しない。**本体の移動や電源コードの巻き込み、転倒による火災の原因になります。
- ●**運転中に電源プラグを抜かない。また、電源プラグの抜き差しで運転や停止をしない。**発熱による火災や感電の原因になります。
- ●**電源コードを持って電源プラグを抜かない。**断線による発熱や発火、感電の原因になります。
- ●**電源は交流100V以外では使用しない。**火災や感電の原因になります。
- ●**定格15A以上のコンセントを単独で使用し、他の器具と併用しない。**コンセントが異常発熱して、発火の原因になります。
- ●**延長コードの使用、タコ足配線をしない。**感電や発熱、火災の原因になります。
- ●**本体や電源コードを破損させない。（傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っぱる、ねじる、きつく束ねる、高温部に近づける、挟み込む、重いものを載せる）**傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因になります。修理は販売店へご相談ください。
- ●**電源コードを束ねたまま運転しない。**発熱や発火の原因になります。
- ●**傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しない。**感電やショート、発熱による火災の原因になります。
- ●**ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・灯油・アルコール・揮発性の溶剤・潤滑剤・アルカリ性の洗剤などで本体をふかない。**
  ひび割れや感電、引火、変色の原因になります。
- ●**衣類乾燥など、暖房以外の用途には使用しない。食品・美術工芸品・毛皮・皮革・動植物の乾燥や保存などの特殊な用途にも使用しない。**
  過熱による発火、品質低下の原因になります。

⚠警告

- **異常・故障時にはただちに使用を中止し、電源プラグを抜く。(異常・故障例:スイッチを入れても運転しない／電源コード・プラグが異常に熱い／電源プラグが変形・変色・損傷している／コードを動かすと通電したりしなかったりする／運転中に異常な音や振動がする／こげ臭いニオイがする／ブレーカーが頻繁に落ちる／ガードが損傷している)**
  異常のまま運転を続けると、故障や感電、発煙、火災などの原因になります。販売店および当社へご相談ください。
- **本体が転倒した場合は、すぐにスイッチをOFFにして、取っ手を持って起こす。**
  転倒保護が働いて停止しても、発熱体の余熱で火災になるおそれがあります。
- **壁・天井・カーテン・可燃物などから、次の距離を確保して設置する。(上方1m以上／前方1m以上／側方30cm以上／後方10cm以上)**
  角度を変えて使用する場合も、同じ距離を守れるよう設置する。
  消防法により、火気器具には周囲から離す距離が定められています。距離が足りないと、過熱による変形や変色、火災の原因になります。
- **災害時に避難の障害とならない場所に設置する。**避難経路や出入口をふさぐと、災害時に逃げ遅れるおそれがあります。
- **平らで安定した強度のある場所に設置する。**転倒による火災の原因になります。
- **電源プラグは根元まで確実に差し込む。**差込みが不完全な場合、感電やショート、発熱による火災の原因になります。
- **定期的に電源プラグのホコリを乾いた布でふき取る。**湿気などで絶縁不良となり、発熱や発火、火災の原因になります。
- **その場を離れるとき、および使用しないときは必ずスイッチをOFFにして、電源プラグを抜く。**感電や漏電火災の原因になります。
- **停電したときはスイッチをOFFにして、電源プラグを抜く。**
  スイッチを入れたまま放置すると、電気が回復したときに発熱が再開し、思わぬ事故の原因になります。
- **お手入れの際は必ずスイッチをOFFにして、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。**感電ややけどの原因になります。

⚠注意

- **本体の両側面や天井面を、壁や他の機器に密着させて設置しない。また、背面・側面の通気孔をふさがない。**
  過熱による火災の原因になります。
- **本体の上に乗らない、よりかからない。**けがややけどの原因になります。
- **振動のある場所に設置しない。**転倒によるけがや事故、共振による発熱体の破損の原因になります。
- **蒸気や熱気が上昇してくる場所、結露する場所に設置しない。**絶縁劣化による漏電・感電・火災・故障の原因になります。
- **調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所、切削粉など導電性粉じんや木屑のかかるところに設置しない。**
  ひび割れ・感電・引火・ショート・発火の原因になります。
- **車両・船舶には設置しない。**振動により、火災・故障の原因になることがあります。
- **使用環境温度の範囲をこえる場所では使用・保管しない。**異常過熱など故障の原因になります。
- **電源を入れたままで、本体を移動させたり、持ち上げたり、立てかけたりしない。**やけどや事故の原因になります。
- **本体をひきずらない。また、本体を倒したり、強い衝撃を与えない。**故障や床の傷、落下によるけがの原因になります。
- **回転できない方向に無理に回さない。**故障の原因になります。
- **発熱体はふかない。**表面のコーティングに傷が付き、故障の原因になります。
- **電源プラグにピンやゴミを付着させない。**感電やショートして発火することがあります。

- **運転の前に、近くにカーテンなど燃えやすいものがないことや、自分で操作できない方や乳幼児がいないことを確認する。**
  火災ややけどの原因になります。
- **ペットの暖房用に使用しない。また、ペットが本体に尿をかけたり、電源コードをかじらないよう注意する。**
  火災や感電、けがの原因になります。
- **運転中、少しでも熱いと感じたら、本体を離す。**低温やけどの原因になります。
- **はじめてご使用になるときや、使い始めは十分に換気する。**
  発熱体に付着している油などが焼けて、煙やニオイが発生することがあります。
- **電源プラグをコンセントに差し込むときと使用後は、必ずスイッチをOFFにする。**感電や故障の原因になります。
- **本体を移動するときは、取っ手をしっかり持って持ち上げる。持ち上げるときは、本体が冷めてから行う。**
  やけど、故障や床の傷、落下によるけがの原因になります。
- **ガードや発熱体に糸くずなどが付いた場合は取り除く。**火災や異臭の原因になります。
- **反射板に付着したホコリは定期的に取り除く。**放熱効率が低下し、過熱・火災の原因になります。
- **高さ・角度調整時は取っ手を持ちながら行う。また、指や手を挟まないように注意する。**
  本体の急降下や転倒などによる、けがや故障・破損の原因になります。
- **長期間使用しないときは、本体が冷めてからお手入れし、湿気の少ないところに保管する。ホコリが入らないように袋などを被せる。**
  ホコリが付いたまま保管すると、次のシーズンにニオイや異臭の原因になります。
- **シーズン始めは、汚れがある場合はお手入れをしてから使用する。**ホコリなどが焼けてニオイが出る場合があります。

使用上のご注意

- 本製品は屋内用です。屋外での使用は想定していません。
- 本製品はお部屋全体を暖めるものではありません。
- 運転中は約12Aの電流が流れます。定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。
- 運転停止直後は、ガード・反射板・発熱体・本体上部・側面・背面などの高温部に触れないでください。
- 高さ調整時は必ず取っ手を持ちながら行ってください。調整後はノブを確実に締めてください。
- はじめて運転したときや使い始めにニオイや煙が出ることがあります。
  発熱体に付着している油などが焼けるためで、しばらくすると消えます。
- 器具が熱で膨張・収縮するために「ピチピチ」という音が起こることがあります。異常ではありません。
- 安全に使用するために、1年に1回は自主点検を行ってください。
- 3年に1回は専門家による点検を行ってください。また、3年以上経過している場合は、入念に点検を行ってください。

保守上のご注意

※器具の点検・清掃時には安全上のご注意を再度ご確認ください。

- **器具の清掃について**
  清掃の際は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませて固くしぼった布でふき、最後にからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・灯油・アルコール・揮発性の溶剤・潤滑剤・アルカリ性の洗剤、市販の除菌用やお掃除用のウェットシートは使用しないでください。ひび割れ・感電・引火・変色の原因になります。
- **反射板のお手入れについて**
  反射板にホコリが付着すると、放熱効率が低下し過熱の原因になります。本体が冷えた状態で、水で湿らせ固くしぼったやわらかい布でふき取ってください。ホコリは掃除機で反射板を傷つけないように吸い取ってください。
- **発熱体について**
  発熱体はふかないでください。表面のコーティングに傷が付き、故障の原因になります。糸くずなどが付いた場合は取り除いてください。
- **電源プラグについて**
  コンセントから抜き、乾いた布でふいてください(1ヵ月に2回程度)。
- 保守、点検、清掃などの際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- ネジなどのゆるみがないか確認し、ゆるみがある場合は締め直してください。
- 使用されないときは、お子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。

長期間使用しないとき

- シーズン終わり…本体が冷めてからお手入れし、湿気の少ないところに保管してください。ホコリが入らないように、袋などを被せてください。
- シーズン始め…汚れがある場合は、ホコリなどが焼けてニオイが出る場合があるためお手入れをしてからご使用ください。

愛情点検



長年ご使用のスリムヒーターの点検は定期的に!

こんな症状はありませんか?	ご使用中止
●スイッチを入れても運転しない場合がある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源プラグが変形、変色、損傷している。 ●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●こげ臭いニオイがする。 ●ブレーカーが頻繁に落ちる。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ただちに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店および当社へ点検・修理をご相談ください。 ※長年ご使用の製品は、経年劣化により思わぬ事故につながることがあります。

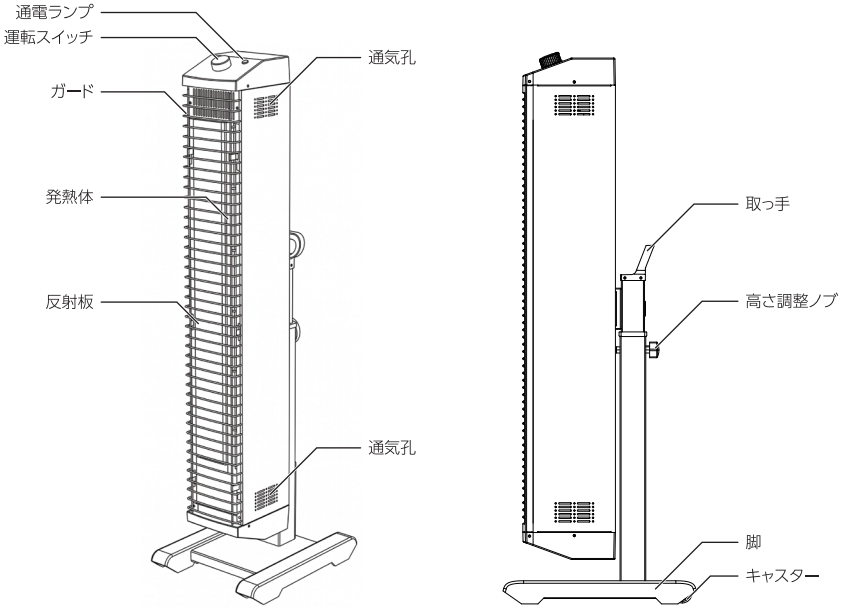
仕様

■タ　イ　プ　屋内用
■定 格 電 圧　100V（50Hz/60Hz）
■定 格 電 流　12A
■消 費 電 力　1200W
■使用環境温度　−10℃〜23℃
■保 護 装 置　温度センサー/傾斜センサー
■質　　量　約11.0kg
■サ　イ　ズ　W300×D376×H1061／1269㎜　（縦向き）
W975×D376×H698／906㎜　（横向き）

同梱品

●本体…1台　●脚取付用ビス…4個　●脚（片キャスター付）…2個　●安全のしおり…1部

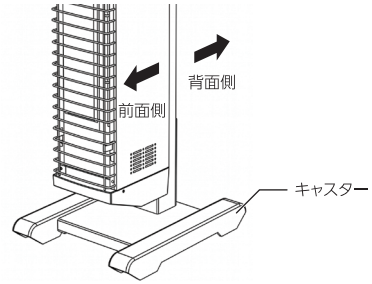
各部の名称

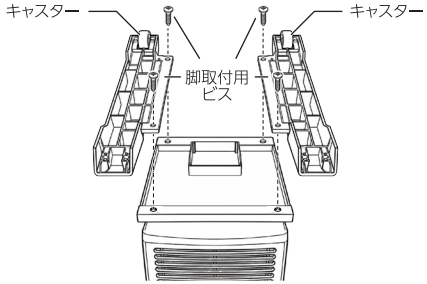


■脚の取付け方法

※脚の取付けは、本体に負荷のかからない状態で、安定した場所で行ってください。

●図のように、本体下部に付属の脚取付用ビスで脚を取付けてください。
キャスターが本体の背面側に向くように取付け、取付後は、確実に取付けられていることを確認してください。
また、長期間使用される場合は定期的に緩みがないかを確認し、緩んでいる場合は増し締めを行ってください。



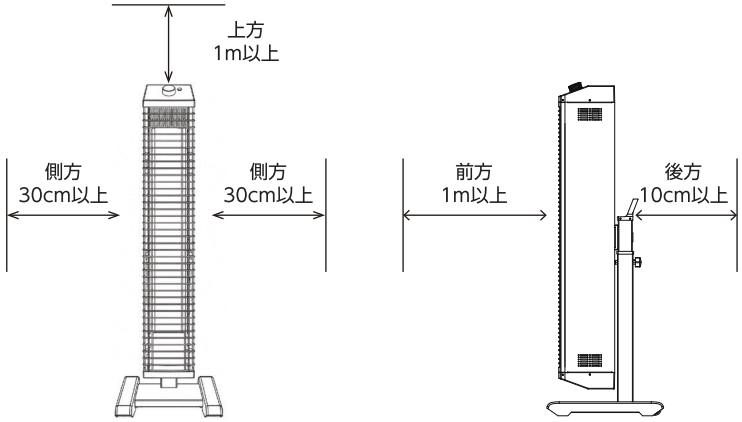


■設置について

※設置の際は、下記注意事項をご確認の上、安全に使用してください。
※より安全にお使いいただくため、アース付きコンセントでのご使用をおすすめします。
　アース付きコンセントがない場合の設置については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

設置時のご注意

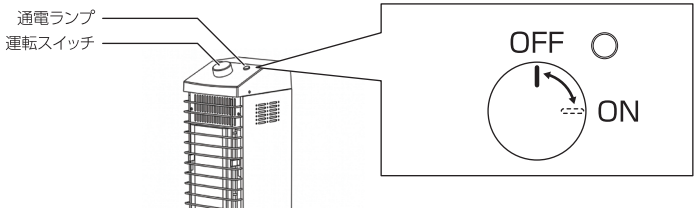
●本製品は、上方1m以上／前方1m以上／側方30cm以上／後方10cm以上の空間を設けてください。
　角度を変えて使用する場合も、同じように空間を空けて設置してください。
●カーテン、寝具、衣類、紙など燃えやすいものを近くに置かないでください。
●スプレー缶やライター、ガソリン・灯油などの引火しやすいものを近くに置かないでください。
●平らで安定した床に設置してください。傾いた場所や不安定な台の上には置かないでください。
●浴室や脱衣所など、湿気の多い場所や水のかかる場所には設置しないでください。
●電源コードを本体と壁の間にはさんだり、下敷きにしたりしないでください。
●通路や出入口など、人がぶつかったりコードに足を引っかけたりしやすい場所は避けてください。
●本体に衣類やタオルを掛けたり、かぶせたりしないでください。
●小さなお子様やペットが触れにくい場所に設置してください。



使用方法

■電源の入れ方

①運転スイッチが『OFF』になっていることを確認してください。
②電源プラグをコンセントに接続し、運転スイッチを回して電源を『ON』にしてください。
　通電ランプが点灯し、運転が開始されます。
※使用しないときは、必ず運転スイッチを『OFF』にし、電源プラグを抜いてください。

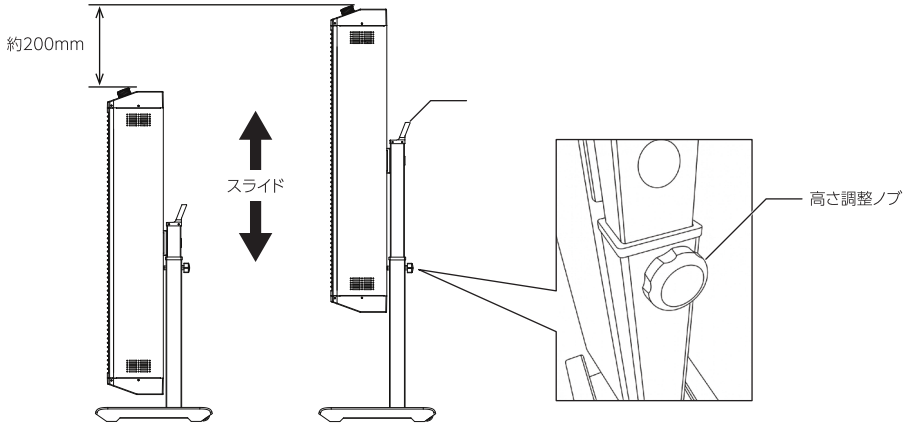


■高さの調整

高さ調整時のご注意

- 必ず電源を『OFF』にし、本体が十分に冷めた状態で高さを調整してください。
- 取っ手を持たずに高さ調整ノブを緩めると、本体が急降下し、大変危険です。
  必ず取っ手を持ちながら高さ調整ノブを緩めてください。
- 本体を降下させるときは、指や手を挟まないよう注意してください。

①取っ手を持ちながら、背面の高さ調整ノブを緩めてください。
②取っ手を持ったまま本体をスライドさせ、止まる位置で高さ調整ノブをしっかり締めてください。
③高さ調整ノブが確実に締まっていることを確認してください。
※高さ調整は2段階です。中間位置では固定しないでください。



使用方法

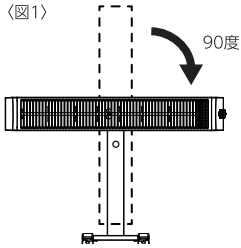
■ヒーターの回転

回転時のご注意

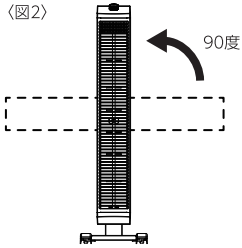
- 必ず電源を『OFF』にし、本体が十分に冷めた状態で回転させてください。
- 必ず周囲に危険がないかを確認してから回転させてください。
- 回転中は、指や手を挟まないよう注意してください。
- 可動域を超える無理な回転や、指定以外の方向へ回転させないでください。

①本体の上下を持ち、〈図1〉の方向に、回転が止まる位置までゆっくり回してください。
②縦向きに戻す際は、本体の上下を持ち、〈図2〉の方向に、回転が止まる位置までゆっくり回してください。
※**必ず90度回し切り、中間位置では使用しないでください。**

〈図1〉



〈図2〉

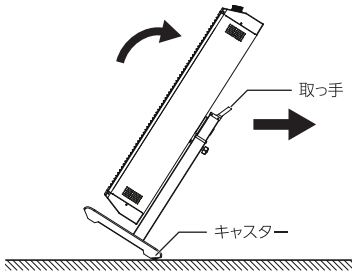


■キャスターでの移動

移動時のご注意

- 必ず電源を『OFF』にし、コンセントからプラグを抜いた状態で移動させてください。
- 本体が十分に冷めた状態で移動させてください。
- 傾けすぎると、脚の樹脂部分が床面に接触するおそれがあります。

- 取っ手を持ち、背面側に傾けてください。



保護装置について

■温度センサー

- 本体が過熱すると自動で運転を停止します。**（通電ランプは点灯状態を維持します。）**
  過熱した原因を取り除いてください。その後、温度が下がると自動で運転を再開します。

■傾斜センサー

- 脚部が**前後左右のいずれかの方向に約45度**傾くと、通電ランプが消灯し、運転を停止します。
  脚部を水平な状態に戻すと、通電ランプが点灯し、自動で運転を再開します。

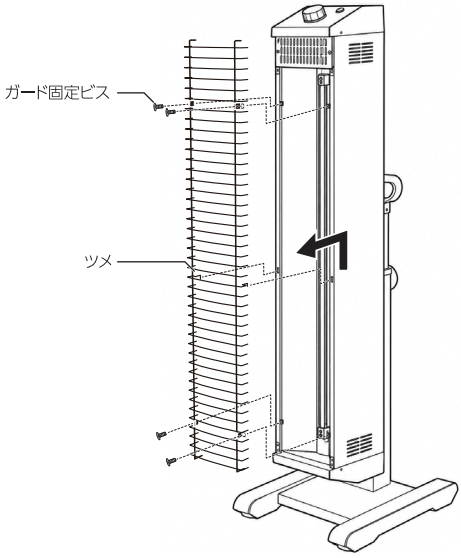
お手入れと保管

お手入れ時のご注意

- お手入れは、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 本体に水をかけたり、水洗いしたりしないでください。
- シンナー・ベンジン・アルコールなどは使用しないでください。変形・変色の原因になります。
- ガード・通気孔にホコリがたまると過熱の原因になります。定期的に取り除いてください。
- 反射板にホコリが付着すると、放熱効率が低下し過熱の原因になります。定期的に取り除いてください。
- 発熱体を強く押したり、物をぶつけたりしないでください。
- 発熱体はふかないでください。表面のコーティングに傷が付き、故障の原因になります。
  糸くずなどが付いた場合は取り除いてください。

■お手入れ方法

- 清掃の際は、やわらかい布でからぶきしてください。
  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませて固くしぼった布でふき、最後にからぶきしてください。
- ガード・通気孔は掃除機のブラシノズルなどで、ホコリを取り除いてください。
- 反射板の汚れは、水で湿らせたやわらかい布でふき取ってください。
- 電源プラグの刃や刃の付け根にホコリがたまると火災の原因になります。
  定期的に乾いた布でふいてください。
- キャスターに髪の毛や糸くずが絡まっているときは取り除いてください。



【ガードのはずし方】

- 図のように、ガード固定ビスをはずしてください。
  ガードを上に持ち上げ、手前に引くとはずれます。

※ビスをはずす際は、ガードの落下に注意してください。

- お手入れ後は、ガードを元の位置に取付け、ガード固定ビスを確実に締めてください。

■保管方法

- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お手入れをしてから保管してください。
- 本体を縦向きに戻し、高さを最も低い位置にして、高さ調整ノブを確実に固定してから保管してください。
- 本体が冷えてから、ホコリよけのためにポリ袋などをかぶせて保管してください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないでください。
- 本体を倒した状態で保管したり、本体の上に物を載せたりしないでください。
- 電源コードは本体に強く巻き付けず、軽く束ねて保管してください。
- 再び使用するときは、電源コードや電源プラグに傷・変形などの異常がないことを確認してからご使用ください。

こんなときは

修理を依頼される前に、次の内容をご確認ください。		
状　態	可能性のある原因	対　処　法
運転しない。 (通電ランプが点灯しない)	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	運転スイッチが『OFF』になっている。	運転スイッチを『ON』にしてください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを確認してください。
	傾斜センサーが働いている。	水平で安定した場所に設置してください。
運転中に止まる。	温度センサーが働いている。	原因を取り除き、本体の温度が下がると、自動で運転を再開します。
暖まらない。	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	運転スイッチが『OFF』になっている。	運転スイッチを『ON』にしてください。
	ブレーカーが落ちている。	ブレーカーを確認してください。
	温度センサーが働いている。	原因を取り除き、本体の温度が下がると、自動で運転を再開します。
	発熱体が故障している。	お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
ニオイや煙が出る。	部品の油分や塗料が焼けている。	故障ではありません。初回使用時やシーズンの使い始めには、部品に付着した油分や塗料が熱せられ、ニオイが発生する場合があります。しばらく使用するとおさまりますので、十分に換気してください。
	発熱体やガードにホコリが付着している。	清掃し、ホコリを取り除いてください。
キャスターが動きにくい	髪の毛や糸くずが絡まっている。	髪の毛や糸くずを取り除いてください。
※上記の対処をしても改善されない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。※		
⚠ 修理技術者以外の方が、本製品を分解したり、修理・改造したりしないでください。		

アフターサービスと保証

- 当社製品の補修・修理は、お買い求めの販売店または当社にご相談・ご依頼ください。
- お客さまご自身による分解・修理は、絶対に行わないでください。故障や事故の原因になります。
- お客さまご自身で分解・修理された場合、お申し出や修理のご依頼をお受けできず、保証の対象外となる場合があります。
  他メーカーの製品に当社の部品を使用した場合も同様です。

〈修理について〉

修理などのお問い合わせは、型式、ロット番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- 製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

〈発売元〉 日動工業株式会社 NICHIDO IND.CO.,LTD

□本　　社　〒572-0076　大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22　TEL.072(803)6905㈹　FAX.072(803)6908
□札幌営業所　〒003-0822　札幌市白石区菊水元町二条2-3-1　TEL.011(871)0577㈹　FAX.011(871)0579
□東京営業所　〒135-0016　東京都江東区東陽4-8-14　TEL.03(5683)4010㈹　FAX.03(5683)4021
□名古屋営業所　〒454-0848　名古屋市中川区松ノ木町1-32-2　TEL.052(351)3666㈹　FAX.052(352)7558
□大阪営業所　〒572-0076　大阪府寝屋川市仁和寺本町1-3-22　TEL.072(803)6905㈹　FAX.072(803)6908
□福岡営業所　〒812-0016　福岡市博多区博多駅南4-17-32　TEL.092(474)7955㈹　FAX.092(474)6329

2026.11